

創傷ケアセンター開設

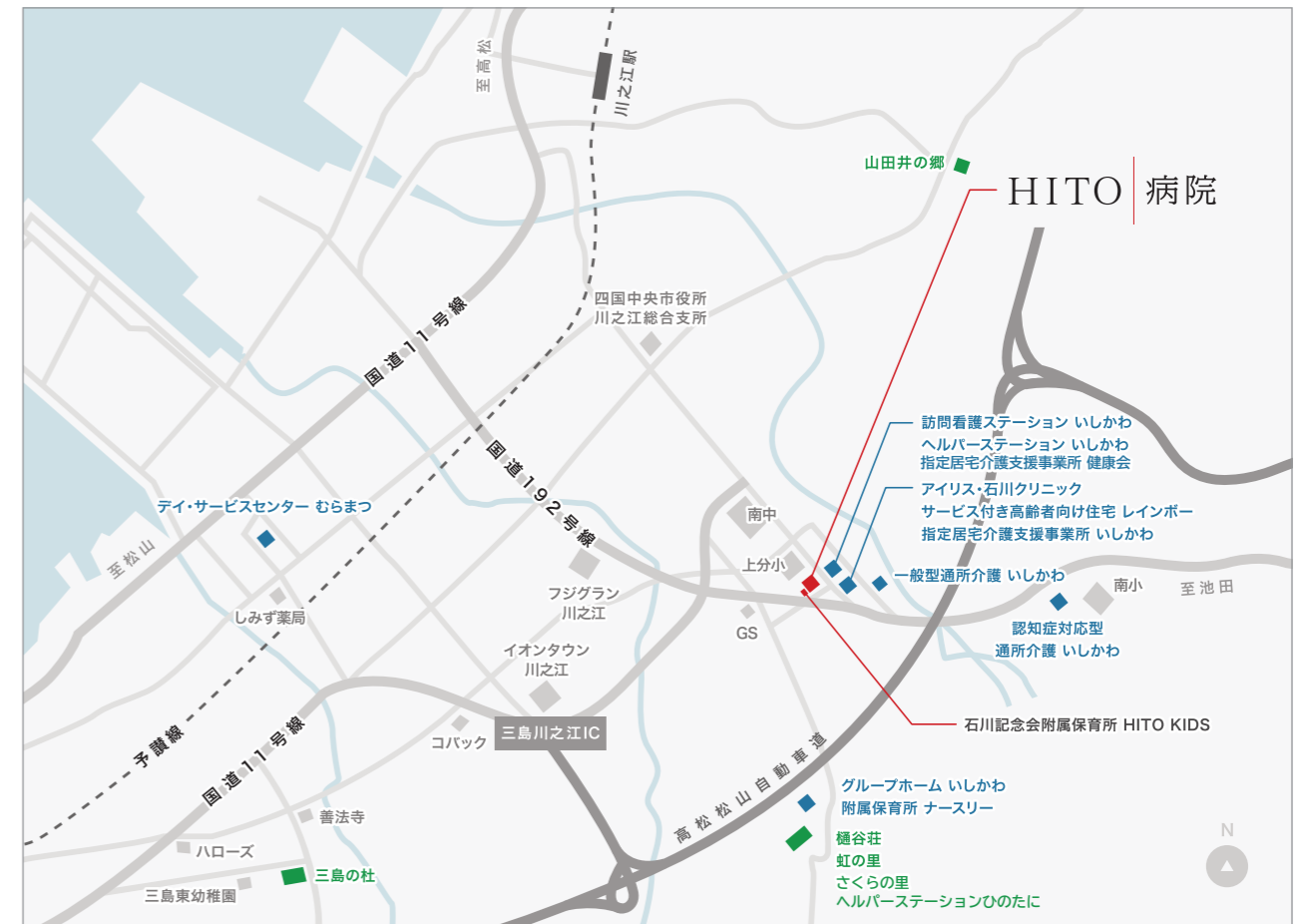
石川ヘルスケアグループ

シリーズ: 4疾病についてよく知ろう
第7回「糖尿病」

婦人科

登録医のご紹介

前向きな心で



HITO 病院
Official Site

Facebook

美容外科Be
Facebook



※社会医療法人とは、公的機関に準ずる機関で、
営利を目的としない公益性の高い医療法人のことです。

治りにくい傷を専門医や多職種で治療する

7月より 創傷ケアセンター開設

「**ご** 挨拶「創傷ケアセンター開設にあたって」



創傷ケアセンター長
形成外科医長
美容外科医師
よねだ たけし
米田 武史

この度、HITO病院では、在宅や施設な

どで介護中に生じた褥瘡(床ずれ)や、糖尿病や動脈硬化といった生活習慣病が原因で、足の末端の血流が不足して潰瘍が起きる慢性下肢潰瘍などの治療を専門的に取り組む、「創傷ケアセンター」を開設いたしました。

従来、慢性の治りにくい傷に対して、専門的に診る所がなく、原因が特定されていないため、何故治らないのか、何故再発するのか、何故再発するのか、患者さまが悩んだり、治療を諦めたりしていました。

当センターでは、最適な治療、ケアを診断し、必要な血行再建、デブリードマン処置(壊死組織などの除去)、除圧治療(足のむくみを取り除く)、軟膏治療、持続吸引療法、血糖コントロールなどの総合的な治療計画を立て、できる限り下肢切断に至らないよう治療をしていきます。



創傷ケアセンター 多職種チーム

「**創** 傷ケアセンターで扱う疾患

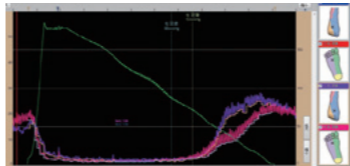
慢性下肢潰瘍

慢性下肢潰瘍には、糖尿病による免疫力の低下や動脈硬化、神経障害からの潰瘍や、動脈が詰まることで起こる潰瘍、また血液が下肢に留まって起こる潰瘍などがあります。

その傷の原因を、SPP(足先の血液の流れを測定する機器)や、レントゲン、CTアンギオ、MRIなどの機器で検査を進めます。また、下肢大切断(膝下あるいは膝上切断)を回避することを大きな目的としています。



SPPの測定は巻き付けるだけ



SPPの測定画面

褥瘡

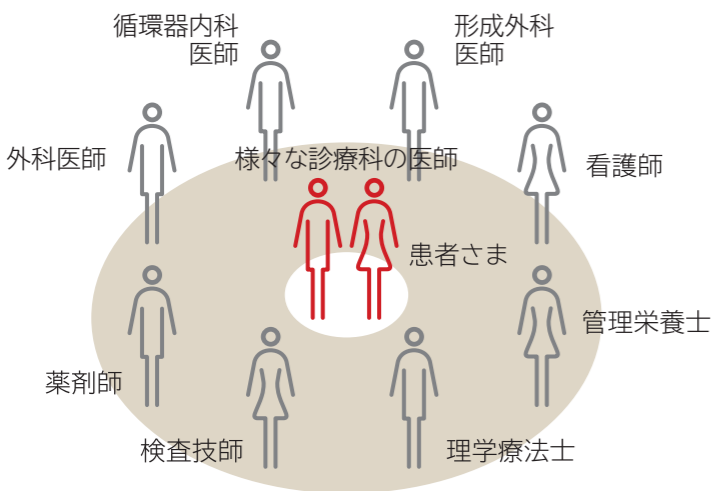
寝たきりが続くと、圧迫やズレによって皮膚がすりむけて、潰瘍(床ずれ)をつくります。状況に応じて、ぬり薬やキズをフィルムのようなもので覆ったり、陰圧閉鎖療法(キズを覆って、吸引ポンプで陰圧をかけて血行を促進させる治療法)や、外科的治療(手術など)を選択します。

また、再発予防のために、生活指導や栄養指導を行っていきます。

「**多** 職種連携による診療体制

医師(形成外科・循環器内科・糖尿病内科・外科など)、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、検査技師などによる多職種の診療体制

創傷ケアセンターでは、医師や看護師だけではなく、治療に必要なその他の診療科や医療スタッフと連携した治療を行います。



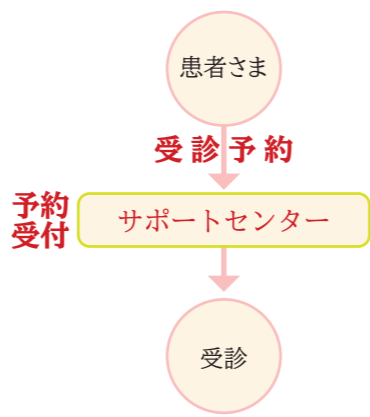
また、糖尿病療養指導士によるフットケアをはじめとして、管理栄養士による栄養指導など、治療後のアフターケアまで行える体制を整えています。

褥瘡においては、予防指導や出来てしまった褥瘡にどう向き合うかについて、地域(介護や訪問看護などの施設、自宅で治療にあたる方など)との連携を図っていき、少しでも快適な療養生活を送れるように支援します。

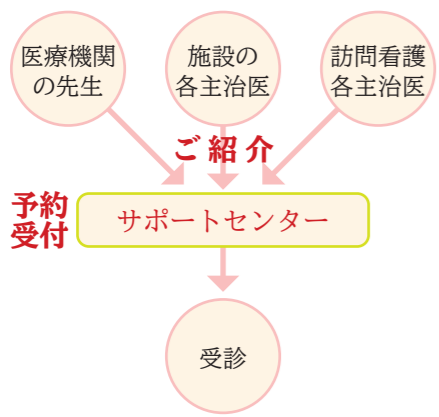
予約や受診の流れ

創傷ケアセンターは、予約制となっており、予約は「サポートセンター」にて受け付けております。

● 外来受診のとき



● ご紹介のとき



予約電話受付(サポートセンター) 予約電話受付時間/月~金曜日)8:30~16:30 (第1・3土曜日)8:30~12:00
● 直通電話番号 0896-58-2226 にて、ご予約を承ります。「創傷ケアセンターの受診予約」とお伝えください。

石川ヘルスケアグループ

石川ヘルスケアグループとは

石川ヘルスケアグループは、社会医療法人石川記念会 HITO 病院、社会福祉法人愛美会、医療法人健康会の3法人から成るグループです。救急や病气・ケガでの入院、手術、検査から、自宅で元の生活に戻るよう早期からのリハビリ、また在宅や施設でのケアなど、地域の皆様が住み慣れた地域で未永く暮らせるように支えています。

※向けたカンファレンスを行い、様々な診療科や職種の意見を取り入れ、患者さまに最適な医療を提供すると共に、ケアマネジャー・生活相談員と医療スタッフが共同でカンファレンスを実施し、退院後の生活を見据えた生活支援にも取り組みます。また、患者さまに気軽に「相談」いただけるよう、相談の支援体制も強化いたします。

※カンファレンス：多職種による協議や情報共有

キーワードは「連携」

石川ヘルスケアグループでは、「連携」をキーワードとして、理念である「いきるを支える医療・介護・福祉の実現」を目指し、次のことに取り組んでいます。

●患者さま中心の医療・介護・福祉
医師・看護師・薬剤師・リハビリスタッフなどの多職種で協働し、患者さまの回復に

●地域と密着した医療・介護・福祉
地域の開業医の先生方との連携を促進することで、患者さまの病状や生活環境にあわせた医療を提供し、患者さまの一生を通じた診療体制を地域で醸成していきます。

また、地域連携パスという、病気の治療や検査に対して標準化された患者さまのスケジュールに沿って、地域の医療機関が連携して治療を行い、退院や転院によって患者さまの療養環境が変わっても、安定

地域で支える仕組み



住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供し地域全体で支える

地域に必要とされるサービス

石川ヘルスケアグループでは、高齢化がピークを迎える2025年に向けて、地域で必要とされるサービスを、地域の皆様とともに連携して作っていく、市民の皆様が安心して暮らしていけるまちづくりを支えていきたいと思えます。

●専門性の強化
脳卒中センターや創傷ケアセンターなどを開設し、より専門性の高い医療を提供できる体制を整備するとともに、患者さまの体への負担が少ない腹腔鏡を用いた手術や、がん・糖尿病・脳卒中・婦人科などの相談窓口を開設するなど、地域に必要なとされる機能や体制を整えています。

更に、地域の生活支援・介護予防として、ロコモ教室・糖尿病教室・リハケア勉強会・がんサロン・認知症カフェや、市の委託事業である出前講座など、地域に根差した活動を行っています。

更に、地域の生活支援・介護予防として、ロコモ教室・糖尿病教室・リハケア勉強会・がんサロン・認知症カフェや、市の委託事業である出前講座など、地域に根差した活動を行っています。

シリーズ
4 疾病について
よく知ろう

- がん
- 脳卒中
- 急性心筋梗塞
- 糖尿病



内科 部長
おおぎ まき
扇喜 真紀
(日本糖尿病学会専門医)

糖
尿病を予防するには

糖尿病の予防は、厚生労働省のホームページ等にも掲載されているように、肥満を防ぐことが最大のポイントです。平成14年に行われた「糖尿病実態調査」でも、肥満の人ほど、糖尿病にかかりやすいことがわかっています。肥満の基準には、BMI(ボディ・マス・インデックス)という基準がひろく使われており、BMIが22のとき、最も病気が少ないと言われています。

具体的な予防法は
「食事と運動を
中心とする
生活コントロール」
です。

BMIの計算式

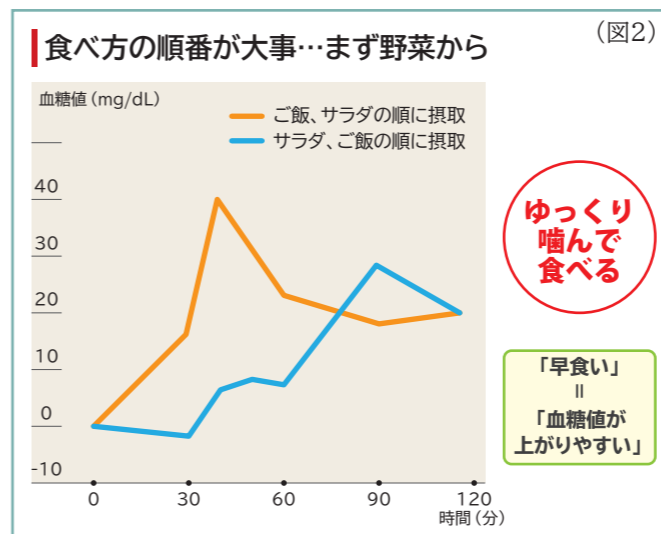
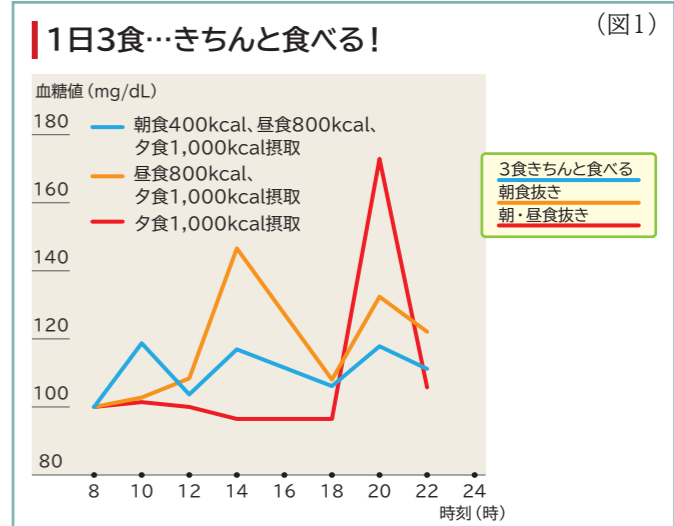
$$\frac{\text{体重 (kg)}}{\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}}$$

① 糖尿病を防ぐ食事とは
野菜は1日に350g以上とりましょう。また、かぼちゃやとうもろこしなどは炭水化物のため、糖質制限の方は、注意が必要です。ビタミンやミネラルが豊富な野菜として、海藻、きのこ類、こんにやくもオススメです。



(野菜1日350gフードモデル)

- ・食事は3食きちんと、まずは野菜から、時間をかけて食べましょう(図1、図2)。
- ・甘いものや脂っぽいものは食べ過ぎないようにしましょう。
- ・素材の味をいかした薄味料理を心掛けましょう。
- ・調味料は直接料理にかけず、小皿につけてみましょう。



② 運動療法(食後の運動を習慣化)

日常生活と運動で
80kcalを消費するのは
こんなに大変です!

ウォーキング(急ぎ足)
20分
掃除機をかける
40分

- ③ 飲酒量は適度に
- ④ 体重を適正にコントロール
- ⑤ タバコを吸わない

①~⑤を
いくつか実行
糖尿病のリスク減少

男性 約31% 減
女性 約39% 減

5つすべて実行

約80% 減少

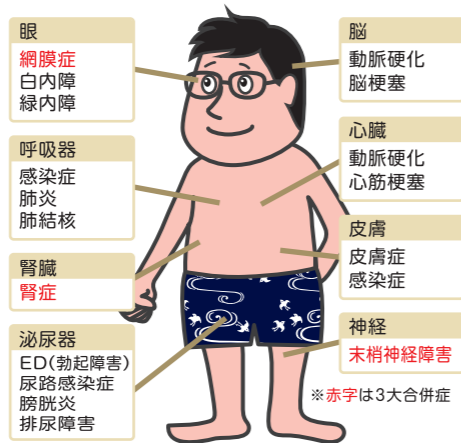
糖
尿病合併症専門外来
があります

糖尿病の3大合併症「網膜症(眼)」「腎症(腎臓)」「末梢神経障害(足などの神経)」の早期発見・予防のために、「糖尿病合併症専門外来」を行っています。定期的な検査を行うことで、失明や壊疽による切断などを防ぎましょう。

● 糖尿病合併症専門外来

① 1日目: 診察、検尿、採血、ポリグラフ、頸動脈エコー、心エコー、心電図、ダブルマスタ、頭部MRI、冠動脈CT等、軽食を取りながらの栄養指導

怖い合併症



- ② 2日目: 腹部精査(CT、エコー、胃カメラ)希望の方や診察で必要と判断された方(2日目は、精査が必要な方の、追加検査になります)
- ③ 3日目: 診察、栄養指導、透析予防指導、フットケア、昼食を取りながらの栄養指導
- ④ リハビリ指導(2~3週間後のご予約になります)

診療日時

① 初回診察・検査日:
毎週火・金曜日
10:00~15:00

② 2回目以降の
治療・診療日:
上記①より3週間後の
火・水曜日
10:00~14:00

■ お問い合わせ・ご予約
サポートセンター
0896-29-5320

フ
ットケアとは

患者さまの足の観察や診察を行いなが

ら、適切なケアを行います。また、患者さま自身やご家族の方でもセルフケアができるように生活指導を交えながら、足病変の予防に繋がります。

フットケアメニュー

- 足の観察・視診・触診・問診、神経障害や血流障害の有無を評価
- 足の清潔保持
- 爪のケア: 爪切り、爪白癬のケア、巻き爪のケア
- 皮膚のケア: 胼胝のケア、鶏眼(別名うおめ)のケア、足白癬のケア、乾燥・角化のケア
- リンパ浮腫のケア: 足病変を予防する靴選び、靴の身体への影響、専用靴・足底装具の活用

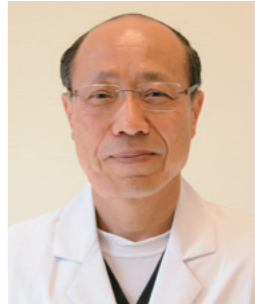
多
職種で取り組む
チーム医療

当院では、日本糖尿病学会専門医が在籍し、また糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師、フットケア研修を行った看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士などの専門スタッフが糖尿病の患者さまをあらゆる面から支援するために、多職種でのチーム医療を行っています。

糖尿病の予防や糖尿病とうまく付き合っていくためにも、少しでも気になる点があればお気軽にご相談ください。

開設1年を迎えて 婦人科

婦人科で扱う疾患



婦人科医長
おがわ はるき
小川 晴幾

「挨拶「開設1年を迎えて」

昨年5月に開設した婦人科も1年を迎えました。当院婦人科では、他人には話じづらい女性の悩みや、あるいは病気とは思われないけれど、気にかかる体の不具合などに対しても患者さまに寄り添いながら診療をすすめてまいりました。

その中で、子宮体がんや子宮筋腫、卵巣嚢腫などを始めとする様々な手術の件数も増えてきております。時にそれが健診から早期発見されることもあり、老若関係なく受診されることや定期的な健診を受けることをおすすめします。

特に私は、婦人科腫瘍を専門としておりますが、産科や骨盤臓器脱など広い範囲にわたって経験した婦人科疾患の知識も活かして、これからもより一層地域の皆様へ貢献いたします。

- 子宮癌検診 (含精密検診)
- 子宮筋腫
- 子宮ポリープ
- 卵巣腫瘍
- 生理痛 (月経困難症)
- 月経不順
- 性感染症
- 更年期障害
- 排尿トラブル
- ピル
- 月経調節
- 不正出血
- 子宮内膜症
- おりものかゆみ
- 子宮脱

定期健診のすすめ

婦人科は、子宮や卵巣の病気、月経に関する症状はもちろん、尿失禁や貧血、便秘、腰痛、また更年期障害のようなホルモンバランスが原因となつて起こる症状(頭痛、肩こり、めまい、のぼせ、手足の冷え)など、さまざまな女性のココロとカラダの不調をみています。

当院婦人科では、四国中央市での子宮がん検診の受診率の向上に貢献したいと考えています。婦人科やその定期健診を受診することは、

地域を守るお医者さん 登録医のご紹介

VOL
04



「井上整形外科医院」

井上 力 理事長

井上 香奈子 院長

「専門領域」

整形外科全般 主に腰と関節を診療上得意としています。

「医院の売りとは？」

有床で19床あり、入院が可能です。腰椎圧迫骨折の方や上肢・下肢の外傷、整形外科の系統疾患の方などが入院されています。

病院にお願いしています。

「診療モットー」

地域に密着した医療を提供していきます。

「患者様への一言」

「入り来る人に安らぎを」という心を大事にしています。

「どのような患者様が多いか？」

スポーツ選手が多いです。

「HITO病院との連携で望まれること」整形外科専門の先生に助けていただきたい。

連携を密にしていきたいです。

「現在、HITO病院とのやりとりでどんなメリットがありましたか？」困ったとき助けていただきました。整形外科の系統疾患や外傷、大きなものに関してはHITO

愛媛県四国中央市三島中央5丁目5-8

電話 0896-24-2171

専門医・認定医／日本整形外科学会、整形外科専門医、産業医、

スポーツドクター(愛媛県スポーツドクター協議会会長・国体評議員)

診療時間・科目／9:00~12:30(月~土)、

14:00~18:00(月・火・木・金)

水・土:午後、日・祝休診

集団栄養教室のスケジュール

場所: HITO病院3階大会議室 費用: 240円
3日前までにお申込が必要です。申込: 栄養科 TEL (0896) 29-5210

| 日程 | テーマ | 提供食 | 日程 | テーマ | 提供食 |
|------------------------|-----------------------------------|--------------------|------------------------|--------------------------|-------------|
| 8/1(土) 13:00~14:00 | 夏場の血压コントロール | ジュース | 12/5(土) 13:00~14:00 | 薬と災害時の備え | 甘味料を使ったデザート |
| 9/5(土) 12:30~14:00 | 糖尿病と合併症 糖尿病教室 | たんぱく質制限弁当 | 1/16(土) 12:30~14:00 | 胃にやさしい食事 | ヘルシー弁当 |
| 10/3(土) 12:30~14:00 | おいしく減塩、おいしく健康 うす味大作戦! | 減塩弁当 | 2/6(土) 12:30~14:00 | カンパセーションマップ 糖尿病教室 | バランス弁当 |
| 11/7(土) 13:00~15:00 | 健康フェスタ ※お申し込み不要 ~糖尿病とうまく付き合おう~ | コラボランチ (別途500円) | 3/5(土) 12:30~14:00 | 脂質異常症を予防しよう | ヘルシー弁当 |



診療時間・予約・お問い合わせ

サポートセンター
0896-29-5320

■診療日:
第1.3.5月曜日、
火~金曜日、第1.3土曜日
午前9:30~11:00
月曜日、金曜日のみ
午後15:00~17:00

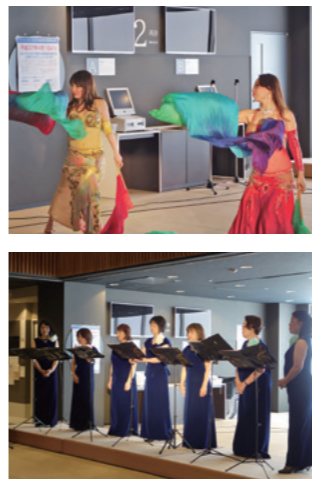
不安や羞恥心から他科を受診する場合以上に悩まれていることと思います。しかし、定期的な健診を受けておくと病気の早期発見・早期治療につながります。特に当院で手術を行った方の半分弱の方が健診から発見されています。また、それ以外の方でも自覚症状無く別の疾患でCTやMRI検査などを行ったことから偶然見つかるケースもあります。自覚症状が出てからでは遅いこともありまますので、勇気を出して受診をおすすめします。当院では、四国中央市全体としての子宮がんを始めとする婦人科検診受診率の向上のために、婦人科の疾患等についての講演会や相談会を、行政や企業等とタイアップし、学生や職員の方をはじめとする市民の方向けに行っております。

体調が悪いときなど、気軽に相談できるかかりつけの婦人科をもつておくこと安心ではないでしょうか。ひとときの恥ずかしさもありませんが、今後の一生を思つて受診されてみませんか。



皆様に音楽の力を
癒しと情熱のコンサート

平成27年4月18日、癒しと情熱のコンサートを開催しました。これは、患者さまや利用者様、地域住民の方へ、音楽を通して疲れや心を癒し、健康の回復や向上につなげていただきたいの思いから、昨年度より開催しているものです。コンサートには市内外の5つの団体の方々にご出演いただき、お越しの皆様には様々なジャンルの音楽を楽しんでいただきました。



在宅医療的ケア研修会
在宅医療の器具に触れてみよう

平成27年4月21日、市内の在宅医療従事者のスキルアップのための研修会として、在宅医療連携拠点センター主催の在宅医療研修会が、HITO病院で開催されました。日頃同じ仕事に従事している方々が、在宅医療器具に触れることを通じて、情報交換や意見交換を行いました。いま、医療は「治す」だけではなく「支える」という役割を大きく担っています。安心して在宅療養ができる体制を整えられるよう、今年度は、この研修会を計6回開催する予定にしています。



栄養フェスタ
脱メタボ教室

平成27年5月2日(土)、集団栄養教室「栄養フェスタ」を開催しました。「メタボリックシンドローム」をテーマに医師が講義をした後、セラピストが、その防止に有効な運動を紹介しました。また、糖質が気になる方でも食べられるよう工夫されたケーキも提供しました。

このような集団栄養教室を今年度も毎月1回ずつ開催する予定です。医師や管理栄養士の相談コーナーもありますので、これからもよろしくお願ひします。



第3回脳卒中相談会

平成27年5月29日(脳卒中週間に開催)、フジグラン川之江で脳卒中相談会を開催しました。当日は、脳卒中専門医で当院脳卒中センター長の久門良明先生をはじめ、脳卒中リハビリテーション認定看護師、保健師、セラピストが、ブースを訪問された方の相談にお答えし、健康チェックを行ったりしました。今後も、院内だけでなく、院外でもこのような相談会を開催する予定です。



[新任医師紹介]



神経内科 医師
愛媛大学大学院医学系研究科
老年・神経・総合診療内科学 教授
おやぎ やすまさ
大八木 保政

- 出身大学/九州大学医学部
- 卒業年度/昭和60年卒業
- 専門分野/神経内科学・神経化学
- 専門医等/医学博士、日本内科学会認定医・指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医
- モットー/正確な診断と、適切な治療を、わかりやすく。
- 患者さまへひとこと/もの忘れ、歩きが悪い、手足がしびれる、震えるなどの症状が気になれば御相談ください。
- 診療時間/毎週金曜日
午前8:30~午後12:30 ※要予約

お知らせ HITOインフォメーション

HITO|NEWS表紙の
イラストレーターさん

K. タエコさん



1985年よりイラストレーター業務開始。福岡県在住。主にオイルパステルを使って、やさしく暖かさを大切にしたイラストを作成。第四回イラストレーション通信イラストレーション・コンペ金賞受賞(2012)